大正デモクラシー

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿ 月 ＿＿＿＿ 日

奈良　平安　鎌倉　室町　安土桃山　江戸　明治　**大正**　昭和

今日の問い

大正時代、人々の声は政治や社会をどのように動かしたのだろう。

下線に当てはまる語句を書こう。同じ番号には同じ語句が入る。左の欄の説明もヒントにしよう。

1 護憲運動と政党内閣

吉野作造・普選

2 民本主義を唱えた政治学者。

6 1925年、25歳以上の男子に選挙権を認めた法律。

7 1925年、共産主義などの運動を取りしまった法律。

大正の初め、藩閥の政治を批判して憲法にもとづく政治を守ろうとする [1] **護憲運動** が起こり、桂太郎内閣はたおれた。政治学者の [2] **吉野作造** は、天皇主権のもとでも政治は民衆の幸福と意見を大切にすべきだという [3] **民本主義** を唱えた。このように民主主義を求める風潮を [4] **大正デモクラシー** という。

1918年、米騒動のあとに成立した [5] **原敬** 内閣は、衆議院の第一党の党首が首相となる、本格的な政党内閣で、大臣の多くも立憲政友会の党員だった。1924年、再び護憲運動が高まり、加藤高明を首相とする内閣ができた。1925年に [6] **普通選挙法** が成立し、25歳以上の男子すべてに選挙権があたえられ、有権者は大きく増えた。同じ年、共産主義などの運動を取りしまるため [7] **治安維持法** も定められた。

2 社会運動の広がり

水平社・労働・女性

8 1922年、差別からの解放をめざして結成された団体。

11 女性の地位向上と参政権を求めた運動の中心。

民主主義の高まりのなかで、人々は社会の不平等をなくそうと動き始めた。1922年、差別を受けてきた人々が自らの手で解放をめざす [8] **全国水平社** を結成し、部落差別をなくす運動を進めた。

工場で働く人が増えると、賃金の引き上げなどを求める [9] **労働争議** が各地で起こり、小作人が地主に小作料の引き下げを求める [10] **小作争議** も増えた。都市で働く人々の暮らしの不満が、運動の広がりをささえた。女性の運動では、[11] **平塚らいてう** が市川房枝らと新婦人協会をつくり、女性が政治に参加する権利を求めた。ただし、この時代に選挙権があたえられたのは男子だけで、女性の選挙権は第二次世界大戦後に実現した。

運動	めざしたこと
[8] **全国水平社**	部落差別からの解放
労働争議・小作争議	賃金や小作料などの改善
新婦人協会	女性の地位向上と参政権

できた ＿＿＿ / 11

ちりつもドリル
学校・家庭・塾・教室での印刷と配布は自由です。ウェブへの掲載・販売はできません。